

せかい
世界の子どもに愛される
「ぐりとぐら」
ご ばん
語 版

 にほんご ばん
日本語版



 **シンハラ語版**
(スリランカ)



日本で生まれた「やりとぐら」は、ほかにも  韓国語、 クメール語(カンボジア)、 英語、 中国語、 オランダ語、 デンマーク語、 フランス語でも出版されています。



ちががきし　す　さいとうたけひろ
茅ヶ崎市に住む齋藤武久さん(100歳)は、木の枝や廃材を使って「ぐりとぐら」などの絵本の世界を表現しています。木工作品づくりを始めたのは90歳のとき。

ヤスリや彫刻刀を使って小さなパーツで丁寧に作り、子どもたちの大好きな絵本の世界を木工作品で見せてくれます。



絵本といってもさまざまなタイプがあります。目や耳が自由な子どもたちには、点字やDVD付きのバリアフリー絵本が、まだ言葉を話せない小さな子どもには、さわって楽しい布絵本や仕掛け絵本が人気です。



どうぶつ
『動物たちの
ゆかいなしぐさ』
(ナショナル・ジオグラフィック・ソサエティ 監修)
かんしゅう
だいにほんかんり
やく
さななしまさお 訳
大日本絵画)

科学のおもしろさを仕掛け絵本で紹介
ひっぱったり、めくったりしながら
動物たちのしぐさを学びます。カバの
口の中をのぞいたり、ゾウの耳を動か
してみましょう。



『あかずきん』  よこはま布えほんぐる一ふ作

ぬのえほん
布絵本。マジックテープでくっついている登場人物を
はなし たの
つけたりはずしたりしながら、お話を楽しめます。

『ホッキョク
グマのコダ』
(Buk-geuk-gom Koda
Books)

BF BOOKS

ふじゅうこ
みみ 耳の不自由な子どもが
たの しゅわ タイプイテイ
楽しめるよう、手話のDVD
ついています。

かいがい こ えほん とど
海外の子どもたちに 絵本を届ける

シャンティ国際ボランティア会は、絵本がほとんど出版されて
 いる国の子どもや、文字が読めない子どもたちに絵本を読んで
 もらうこと、絵本を届ける運動（うんどう）を行っています。日本語の
 絵本を、それぞれの国の言葉に訳して送ります。生まれ育った
 絵本は、図書館や学校に配られ、ボロボロになるまで読まれ
 ています。



いちばんす はなし
一番好きなお話は「しっぽのはたらき」です。
とてもおもしろいからです。
ほん よ
本が読めて、とてもうれしいです。
ライオス シアちゃん(10歳)



タイに住むミャンマー移民へ、
ビルマ語の絵本を配布しています。



えほん とど うんどう きょうみ ひと
「絵本を届ける運動」に興味のある人は
<http://sva.or.jp/> まで。

えほん
絵本
ま
め
と

絵本は子どもたちだけのものではありません。ピーターラビットや、
 いとうひろしさんの「だいじょうぶだいじょうぶ」（講談社）などは、
 大人も大好きな作品です。現在は、写真や動画など、
 目と耳を働かせる感じるものがたくさんありますが、
 絵本は、お母さんやお父さんの温もりも伝えてくれる、何ともいえない宝物。
 そんな魅力あふれる『絵本のチカラ』を再発見してみよう。

あーすぶらざは、国際理解や平和、
地球規模の課題について、
展示セミナーを通して学ぶ場所です。
TEL:045(896)2121 [Qあーすぶらざ検索](#)



神奈川県立地球市民かながわプラザ

